



## 乳児の着替えについて学ぼう！家庭看護3級に挑戦！

生活科学科では、以下の表のように、保育技術検定（以下、保育検定）の合格を目標に日々の授業を頑張っています！そして、これまでに紹介したように、保育検定には「造形表現」・「言語表現」・「家庭看護」・「音楽リズム表現」の4種類があります。

その内、家庭看護では、だっこや授乳、検温といった乳児の世話から始まり、乳幼児の発達段階・心身の状態に応じた衣服の着脱やおむつ交換、けがの手当てなどの基本的技術を身につけることを目的としています。

そして、今回は、生活福祉コース・保育コースの2年生が保育検定の家庭看護3級合格に向けて取り組んでいる実習の様子をお伝えします。



学年	合格を目標とする検定名
生活福祉コース2年生全員・保育コース2年生希望者	家庭看護4、3級
生活福祉コース3年生全員・保育コース3年生希望者	家庭看護2、1級



家庭看護3級では、保育人形を乳児に見立てて、衣服の着脱に関する基本的技術を身につけることを目標にしています。その際、乳児が腕などをケガしている想定で、ケガしている箇所に負担がかからない方法で衣服の着脱をさせる必要があります。また、この検定は制限時間5分となっています。

今回のようなケガをしている乳児の衣服着脱は、その部位を確認しながら、どの腕から脱がせたり、着せたりするのかに気をつけなければなりません。また、幼児への声かけも大事です。

制限時間も短いため、繰り返しの練習が大事ですね^^ 目指せ全員合格！

